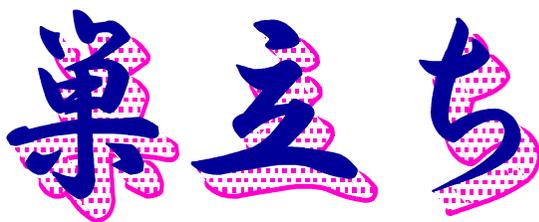


第1号

令和2年
4月9日(木)



加東市立社中学校
生徒指導通信
発行者
植野 謙作(生徒指導)

新年度スタート



～自分自身で正しい判断をし、行動できる力を～

ピカピカの1年生133名を迎え、令和2年度の社中学校が413名でスタートしました。3年生にとっては義務教育最終年を迎えました。2年生にとっては、中堅学年として後輩の手本となり、育てていく大事な役割も与えられました。自分だけでなく、周りの仲間たちも一緒に支え合い、社中学校をよりレベルの高い集団に成長させてくれることを期待しています。

さて、新型コロナウイルス感染症にともなう臨時休業が要請されてから一か月以上が経ちました。その間には、登校日や2時間以内の部活動等が認められて友だちとの会話や運動を楽しむこともできましたが、様々な面で不自由さを感じながらの生活になっていることでしょう。新年度スタートの7日には、臨時休校中に不安や心配事を話せなかったことのストレスやトラブル等の相談がないかをプリントに書いてもらいました。「家からあまり出ることができない。友だちと遊べないからしんどくなる」、「家に一日いるのがしんどい」などストレスがたまっている生徒が大勢いました。話を聞いて心のケアも必要ですので、臨時休校中でも相談があれば学校へ連絡をください。

最後に、今この深刻な状況を「大切な経験」と思えるほど心に余裕はありません。あるニュースで、アメリカの政治学者のイアン・ブレマーさんがテレビのインタビューで「今は人生で何が大切かを見返す時だ。」と語っておられました。外出制限や自粛で、重苦しく、息をひそめる日々が続いていますが、静かに自分と向き合う時間はあると感じます。時間はかかると思いますが、今を「大切な経験」としてプラス思考で受け入れ、生活していきたいです。



☆3年生新クラス発表☆



☆令和2年度入学式☆



心の教育担当者



今年の「心の教育」担当者です。社中学校生の皆さんの学校生活を、様々な場面でサポートしていきます。友だち関係や学習のことなど、困ったことや悩んでいることがあれば相談にきてください。保護者の方の相談もお受けいたします。また、スクールカウンセラーさんの海津健一郎先生も4月14日(火)から来られる予定です。その他にも、各学年には学年の生徒指導担当がいます。一年間、よろしくお願いいたします。

(後列左より)

- ・藤本貴樹 (スクールソーシャルワーカー)
- ・西村英美 (生活指導補助)
- ・尾家江里奈 (養護教諭)
- ・菅野美知 (生活指導補助)

(前列左より)

- ・植野謙作 (生徒指導)
- ・高見恵美子 (生徒支援)
- ・中川美和子 (不登校)

生徒・保護者のみなさんへ

○臨時休校中の生活について

・本日、配布した「加東市中学校統一事項」をしっかりと確認をして生活しましょう。ストレス解消や健康維持の観点から屋外で体を動かすことは大切なことです。ただし公園等を利用する場合は、社中学校の生徒としての自覚を持って、周りに迷惑がかからない使い方をしましょう。なお、休業中に小学校のグラウンドを使っていて、注意を受けた人がいます。許可がないのに使用することはできません。また、3つの「密」とならないよう配慮してください。

○忘れないでほしいこと ～何のための臨時休校なのか～

・「新型コロナウイルス感染症」という今までにない未知の感染症の広がりを防ぐために、兵庫県へ緊急事態宣言が発令されています。「周りに感染者もいないし、自分は大丈夫。」という危機感の欠如が危険です。何よりも健康第一です。規則正しい生活を心がけ、人が多く集まる場所への外出は控えるようにしましょう。

○困ったら相談を

・休業中の過ごし方や家庭学習について心配なことや不安なことがあったら、一人で抱え込まずに、家族や周りの頼りになる大人の方へ相談してください。もちろん学校に相談してもらって構いません。